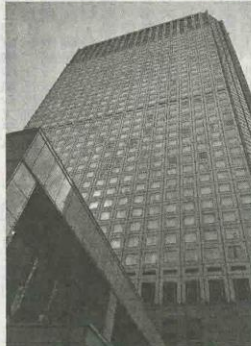


西武が低価格ホテル

宿泊特化、客室単価1万円

新ブランド中心に10年で100カ所開業	
ブランド名	客室平均単価
新ブランド	1万円前後
ザ・プリンス	2万5500～3万円
グランドプリンスホテル	1万6500～2万円
プリンスホテル	1万3000円前後
ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町	4万5500～5万円

(注)ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町はどのブランドにも属さないホテル



品川プリンスホテルなどより価格を安く抑える

19年度メド開業 民泊の台頭意識

西武ホールディングス（HD）がホテル事業で新ブランドを展開する。宿泊に特化して客室単価1万円前後と安く抑えたホテルを2019年度をメドに開業。今後10年内に新ブランドを中心に約100カ所の開業をめざす。訪日外国人客が増えているが、ホテル料金の高騰で民泊などに流れる動きも出ている。値ごろ感のある価格設定で、中間所得層など新たな顧客を開拓する。

新ブランドは「プリンスホテル」など既存の3つに次ぐ4番目のブランドとして立ち上げる。既存ホテルはいずれも宿泊や飲食店、宴会場を備えるフルサービス型だった。ブランド名は未定だがプリンスを冠するものを検討し、ブランド力の維持も狙う。

「プリンスホテル」ブランドの施設の客室単価は1万3000円前後。新ブランドは1万円前後に設定する。西武HDは国内外でプリンスホテルを中心に約50カ所のホテルを運営している。追加で100カ所開けば、ホテルの販売額で年400

訪日客需要を背景にホテル稼働率は上昇してきた



億円規模の増収効果が期待される。出店は首都圏のほか地方の主要都市、新幹線の停車駅や空港周辺の都市などが候補となる。店舗網が相対的に薄い関西圏なども有力となる。西武HDは国内のすべてのホテルは直営だが、新ブランドではフランチャイズ

マホ)で宿泊の手続きを簡単にする。西武HDは16年3月期の「ホテル・レジャー事業」の売上高は1880億円で前年同期より7%増えた。だが、訪日客は料金高騰を背景に民泊などに流れる傾向もあり、地方にも足を伸ばす。強気にあった料金を見直すホテルも出ており、西武HDは新ブランドのホテルを迅速に広げ、取りこぼしてきた中間所得層の訪日客や若い世代の取り込みを急ぐ考えだ。

国内外の顧客のニーズの多様化を受け、ブランドを拡大する動きも目立ってきている。米高級ホテル大手のハイアット・ホテルズは19年、千葉県浦安市に日本初進出となる新ブランド「ハイアットブレイス」のホテルを開く。国内ではフルサービス型が中心となっているが、サービスを絞る、観光客を中心に取り込む。

米高級ホテル大手のハイアット・ホテルズは19年、千葉県浦安市に日本初進出となる新ブランド「ハイアットブレイス」のホテルを開く。国内ではフルサービス型が中心となっているが、サービスを絞る、観光客を中心に取り込む。

簡単にする。西武HDは16年3月期の「ホテル・レジャー事業」の売上高は1880億円で前年同期より7%増えた。だが、訪日客は料金高騰を背景に民泊などに流れる傾向もあり、地方にも足を伸ばす。強気にあった料金を見直すホテルも出ており、西武HDは新ブランドのホテルを迅速に広げ、取りこぼしてきた中間所得層の訪日客や若い世代の取り込みを急ぐ考えだ。

国内外の顧客のニーズの多様化を受け、ブランドを拡大する動きも目立ってきている。米高級ホテル大手のハイアット・ホテルズは19年、千葉県浦安市に日本初進出となる新ブランド「ハイアットブレイス」のホテルを開く。国内ではフルサービス型が中心となっているが、サービスを絞る、観光客を中心に取り込む。